

# 2008 環境報告書

Environmental Report 2008



豊臣機工株式会社

## 会社概要

商 号 : 豊臣機工株式会社

創 立 : 1960年 9月 (昭和35年)

資 本 金 : 4.8 億円 (2002年 4月現在)

従業員数 : 1,650 人 (2008年3月) (協力社員含む)

事業内容 : 自動車用塑性加工部品の製造及びプレス金型の設計・製作

## 営業状況

売 上 高 : 462 億円 (2007年度)

## ごあいさつ

当社の事業内容は、従業員1650名で、自動車ボデー - 関係を主体とした号口部品のプレス・組付け・塗装、旧型補給部品の外板(フェンダー - ・ドア - ・クォータ - etc)のプレス・組付け・塗装・梱包、プレス金型の設計・製作、試作部品のZAS型プレス・板金など、多岐に渡って事業を展開しております。

『環境』への取り組みは、地球温暖化・増大する廃棄物などの環境問題が社会的な課題となっている昨今、当社自らの生産活動に伴う資源やエネルギー - を節約することによって、環境への負荷を軽減することが必要だと決意し、環境方針・スロ - ガンなどを決め、第三次環境取り組みプランを掲げ、全員参加による環境保全活動の継続的改善に取り組んでいます。



豊臣機工株式会社 取締役社長

星 宏一 (Koichi Hoshi)

## 環境方針

当社では、『環境方針』を定め、並びに社内標語募集を行った『スロ - ガン』を掲げて、環境保全活動の維持・継続的改善に取り組んでいます。

\* 2001年5月にISO 14001 国際規格の認証を取得いたしました。

## 環境保全活動スローガン

明日の地球を考える  
みんなが主役の環境活動

## 環境方針

1. 国、地方公共団体等の環境に関する法規及びその他の要求事項を遵守し、汚染の予防に努めます。
2. 生産活動により環境へ及ぼす影響を予測、評価して環境保全のための目的、目標を設定、達成するための活動を推進し、状況により目的、目標の見直しを実施します。
3. 限りある資源を大切にするために、全員参加による廃棄物低減、省エネルギー活動及び省資源活動に取り組みます。
4. 地域社会との環境調和を図ると共に、環境方針の定期的な見直しを実施して継続的改善を行います。
5. 環境方針の実効をあげるため、計画的に教育・啓蒙活動を行い全従業員への周知徹底を図ります。

2007年 7月

取締役社長

星 宏一

## 工場一覧

### 本社工場



所在地 愛知県安城市今本町  
東向山7番地

敷地面積 : 183.800 m<sup>2</sup>  
従業員数 : 1285 人 (協力社員含む)

### 額田工場



所在地 愛知県岡崎市榎山町  
字広表23番地

敷地面積 : 50.000 m<sup>2</sup>  
従業員数 : 165 人 (協力社員含む)

## 主な製品

自動車用補給ハーツ  
自動車用号口部品

バンパー



クォーター



サスペンション



センターメンバー



フェンダー



フロントドア



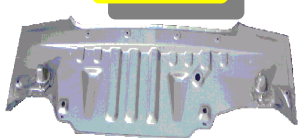
ラゲージ



リヤドア



ロアバック



大開口ルーフ



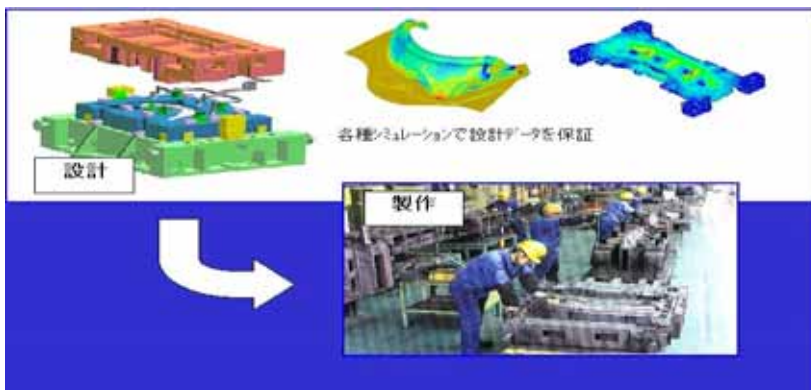
ボンネット



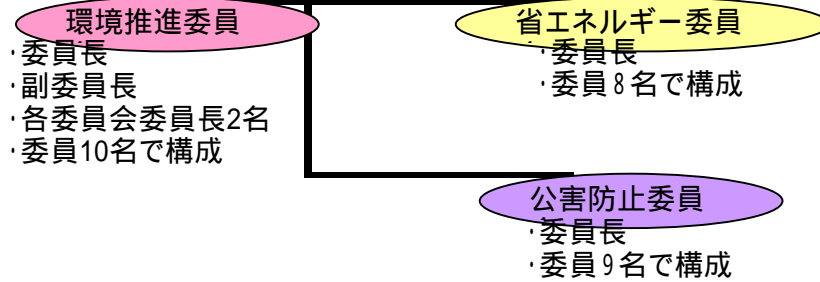
センターピラー



自動車用金型・設計  
・製作



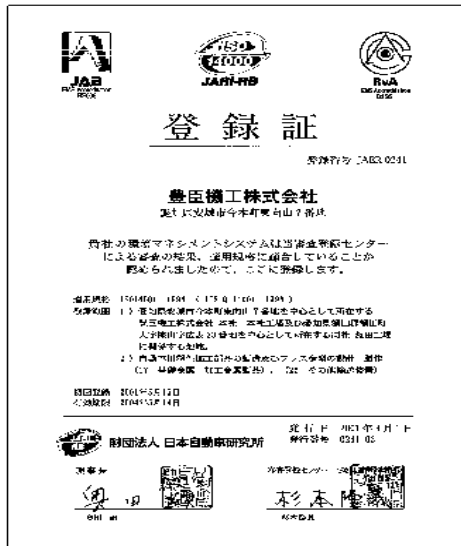
# 推進体制



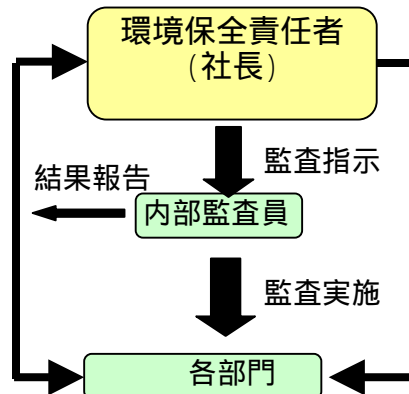
## 環境マネジメントシステムとISO14001への対応

### ISO14001 国際規格の認証取得状況

当社は、1999年11月より、環境マネジメントシステム構築に取り組んできましたが、2001年5月にISO 14001 国際規格の認証を取得  
 2004年5月に認証登録を更新  
 2007年5月に認証登録を更新  
 (登録証)



### 環境マネジメントシステム監査 (環境内部監査のしくみ)



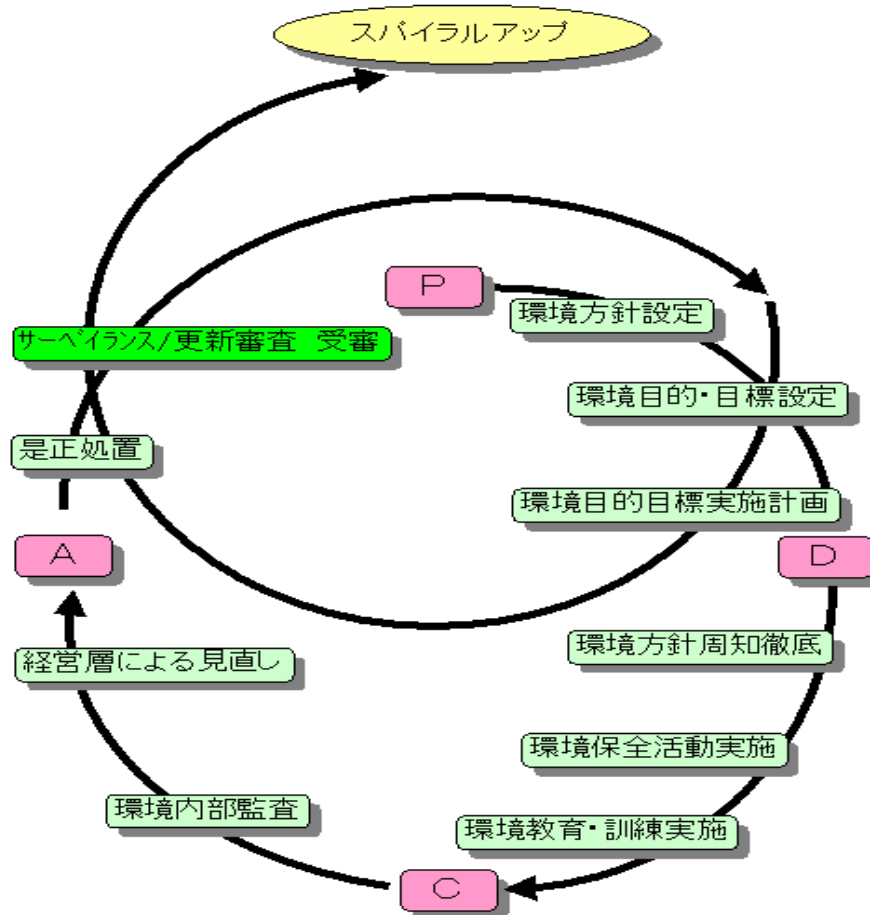
環境マネジメント

環境保全取り組み

## 第三次環境取り組みプラン(2007年度～2010年度)

環境取り組みプランの制定は、環境に関する取り組みを全社的な体系化を図ることで、着実に反映していくために制定しました。第三次環境取り組みプランは、2007年度～2010年度までの環境対応を推進するためのものです。

### ISO14001国際規格の認証取得



# 環境マネジメント

# 環境保全取り組み

下記の表は、2007年度末(2008年4月末)までの活動状況をまとめたものです。

環境目的・目標の設定 及び達成状況																																																																									
<p>温暖化防止</p> <p>エネルギーを効率的に使用し 電力、燃料の低減を行い 地球温暖化防止に寄与する</p> <p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西工場CO2レーザー機冷凍機から循環水化</li> <li>工機工場天井照明電量の見える化</li> <li>南工場溶接機冷却循環水のインバータ化、見える化</li> </ul>	<p>環境目的: CO<sub>2</sub>排出量を 10年度までに・売り上げ高当り; 05年度実績比 (5.0%減)</p> <p>・改善効果額; 05年度実績比 (5.0%相当額)</p> <p>環境目標: 2007年度目標・売り上げ高当り; 43.4t-CO<sub>2</sub> ('05年度実績比44.3t - CO<sub>2</sub>の2%減)</p> <p>・改善効果額; 176t - CO<sub>2</sub>以上</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #e0ffe0; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p><b>'07年度達成状況</b> <b>'05年度比; 低減達成率 99.5% (44.1t - CO<sub>2</sub>減) を達成</b></p> </div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>(%)</td> <td>100</td> <td>99</td> <td>97.3</td> <td>98</td> <td>94.8</td> <td>97</td> <td>96</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2005年度</td> <td>2006年度</td> <td>2007年度</td> <td>2008年度</td> <td>2009年度</td> <td>2010年度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ 低減達成率目標値 (%)</td> <td>100</td> <td>99</td> <td>98</td> <td>97</td> <td>96</td> <td>95</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ 低減達成率 (%)</td> <td>0</td> <td>97.3</td> <td>94.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(%)	100	99	97.3	98	94.8	97	96	95		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度			■ 低減達成率目標値 (%)	100	99	98	97	96	95			■ 低減達成率 (%)	0	97.3	94.8																																									
(%)	100	99	97.3	98	94.8	97	96	95																																																																	
	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度																																																																			
■ 低減達成率目標値 (%)	100	99	98	97	96	95																																																																			
■ 低減達成率 (%)	0	97.3	94.8																																																																						
<p>廃棄物の低減(総務部活動)</p> <p>紙類、プラスチック類を中心に 再資源化を進め、 廃棄量を低減し、 資源保護に寄与する</p> <p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>廃プラB(ビニール類)の高温焼却化</li> <li>陶磁器、ガラス類の破碎選別によるリサイクル化</li> <li>塗装スラッジ、セメント材料としてリサイクル化</li> </ul>	<p>環境目標:</p> <p>環境目的: 焼却廃棄物を 10年度までに・売り上げ高当り; 05年度実績比 5% 減</p> <p>・埋立廃棄物ゼロエミッションを維持継続; '01年度比 99% 減</p> <p>焼却廃棄物; 2007年度目標・売り上げ高当り; 282kg/億円以下 ('05年度実績287.3kg/億円の2%減)</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffe0; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p><b>'07達成状況</b> <b>'05年度比・焼却ごみ; 81%減 (233.6kg / 億円)</b></p> </div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>(%)</td> <td>100</td> <td>99</td> <td>81</td> <td>98</td> <td>81</td> <td>97</td> <td>96</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2005年度</td> <td>2006年度</td> <td>2007年度</td> <td>2008年度</td> <td>2009年度</td> <td>2010年度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ 焼却ごみ 低減達成率目標値 (%)</td> <td>100</td> <td>99</td> <td>98</td> <td>97</td> <td>96</td> <td>95</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ 焼却ごみ 低減達成率 (%)</td> <td></td> <td>81</td> <td>81</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>埋立廃棄物; ゼロエミッションの維持継続; 総量 3.4t 以下 ('01年度実績341tの99%減)</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffe0; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p><b>'07達成状況</b> <b>'01年度比・埋立ごみ; 99%減 (2.41t/年)</b></p> </div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>(t)</td> <td>3.40</td> <td>5.26</td> <td>3.40</td> <td>2.41</td> <td>3.40</td> <td>3.40</td> <td>3.40</td> <td>3.40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2006年度</td> <td>2007年度</td> <td>2008年度</td> <td>2009年度</td> <td>2010年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ 埋立ごみ 目標値 (t)</td> <td>3.40</td> <td>3.40</td> <td>3.40</td> <td>3.40</td> <td>3.40</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ 埋立ごみ 実績値 (t)</td> <td></td> <td>5.26</td> <td>2.41</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(%)	100	99	81	98	81	97	96	95		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度			■ 焼却ごみ 低減達成率目標値 (%)	100	99	98	97	96	95			■ 焼却ごみ 低減達成率 (%)		81	81						(t)	3.40	5.26	3.40	2.41	3.40	3.40	3.40	3.40		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度				■ 埋立ごみ 目標値 (t)	3.40	3.40	3.40	3.40	3.40				■ 埋立ごみ 実績値 (t)		5.26	2.41					
(%)	100	99	81	98	81	97	96	95																																																																	
	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度																																																																			
■ 焼却ごみ 低減達成率目標値 (%)	100	99	98	97	96	95																																																																			
■ 焼却ごみ 低減達成率 (%)		81	81																																																																						
(t)	3.40	5.26	3.40	2.41	3.40	3.40	3.40	3.40																																																																	
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度																																																																				
■ 埋立ごみ 目標値 (t)	3.40	3.40	3.40	3.40	3.40																																																																				
■ 埋立ごみ 実績値 (t)		5.26	2.41																																																																						

## 環境マネジメント

## 環境保全取り組み

### 第三次環境取り組みプラン( 2007～2010年度 )及び2007年度活動実績

#### 環境目的・目標の設定 及び 達成状況

##### 水質汚濁法

###### 主な取り組み

・水質汚濁法  
法規制値対象測定項目46項目測定

・PRTR法  
ニッケル、トルエン、キシレン、亜鉛、  
有機スズ、ビスフェノールA、  
エチルベンゼン  
の7点の排出ルートの記事

###### 環境 目的

法規制値	自主基準値	
	未達成件数	0件
	異常・苦情	0件

###### 2007年度 環境 目標

法規制値	自主基準値	未達成件数	0件
・ 規制値の順守確認とフォロー			

【結果:0件達成】

異常・苦情	0件
-------	----

・ 苦情発生時の迅速な対応

【結果:3件発生】 苦情発生時の迅速な対応実施済み

環境に関する法的、及びその他の要求事項データは最終ページに記載

##### 補給金型再資源活用

2004年度以降は

[補給金型廃却リサイクルの促進による資源枯渇防止]は生産管理部の定常活動として継続する

##### (参考)

年度達成状況 2004年～2007年

		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
金型再利用	実績(t)	10,040	8,525	8,078	6,354

## 環境教育・訓練

### 緊急事態訓

#### 緊急事態対応訓練実施風景

緊急事態発生可能性施設について、14施設を特定し、年間計画書に織り込んで緊急事態対応訓練を実施しています。



### 周知徹底活動

#### 環境教育実施風景



## 社会貢献活動

### コミュニケーション

毎年8月に、駐車場を「お祭り一色」にし、近隣住民の方々へも参加の案内を出させていただき、情報交換の場として、開催しております。

#### '07 サマーフェスティバル風景



### 地域社会

毎年、定期的に本社工場及び額田工場周辺のゴミ拾いを、実施しております

#### 工場周辺のゴミ拾い風景



## 環境データ (2007年度)

### 大気(大気汚染防止法、県条例)

	項目	設備	法規制	県条例	安城市協定	自主基準値	実績
本 社 工 場	ばいじん	ガス ボイラー	——	0.30 g/m <sup>3</sup> N以下	0.2	0.16	0.0001 未満
	燃料硫黄分		——	——	0.8 %以下	0.64	0%

NDは検出限界以下を示します      —— 表示は規制値なし      SOX:硫黄酸化物

### 水質 本社工場 (水質汚濁防止法、県条例等)

	項目	設備	法規制	県条例	安城市協定	自主基準値	実績		
							最小値	最大値	平均値
本 社 工 場	PH	・ 酸又は アルカリ による 表面処理 施設  ・ し尿 浄化槽	5.8 ~ 8.6	——	6.0 ~ 8.5	6.2 ~ 8.2	6.5	7.4	7.1
	BOD		160 mg/l以下	25	20	16	0.5	7.9	4.1
	COD		22 kg/日	——	——	19	10.5	17.0	14.4
	SS		200 mg/l以下	30	20	16	1	3	1.3
	油分		5 mg/l以下	——	4		0.5	1.2	0.6
	大腸菌 群数		3000 個/cm <sup>3</sup> 以下	——	1000	800	30	30	30
	窒素汚濁 負荷量		31 kg/日以下	——	——	24.8	6.4	14.8	10.8
	リン汚濁 負荷量		3.9 kg/日以下	——	——	3.1	1.1	2.9	2.1
	銅		3.0 mg/l以下	1	0.2	0.16	<0.001	1回/年	
	亜鉛		2 mg/l以下	——	2	1.6	<0.03		
マンガン	10 mg/l以下	5	2	1.6	<0.08				

NDは検出限界以下を示し      - 表示は規制値なし

記載のない以下の項目は全て検出限界以下

PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1トリクロロエタン、1・1・2トリクロロエタン、1・3ジクロロプロパン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン及びその化合物

PH;水素イオン濃度 BOD;生物化学的酸素要求量 SS;水中の懸濁物質濃度  
額田工場水質データについては次ページ記載

環境マネジメント

環境保全取り組み

環境データ (2007年度)

水質 額田工場 (水質汚濁防止法、県条例等)

	項目	設備	法規制	県条例 (境川水域)	岡崎市指導基準値	実績	
額 田 工 場	PH	特定施設なし 法及び県条例の規制 対象外			5.8 ~ 8.6	6.6	1回/年
	BOD				20	4.8	1回/月
	COD						
	SS				20	12	1回/年
	大腸菌 群数				500個/cm <sup>3</sup> 以下	30以下	1回/月
	溶存 酸素量						
	窒素 含有量						
	リン 含有量						
	銅				1.0 mg/l 以下	2006年度 測定済み	1回/6年
	亜鉛				2.0 mg/l 以下		
	マンガン				3.0 mg/l 以下		
	水温						

PH;水素イオン濃度 BOD;生物化学的酸素要求量 SS;水中の懸濁物質濃度

PRTR法対象物質

1999年7月に制定された  
「特定化学物質の環境への排出量の把握  
及び管理の改善の促進に関する法律」

- ・ニッケル(塗装前処理液)・ベンゼン(ガソリン)・亜鉛の水溶性化合物(塗装前処理液)
- ・マンガン及びその化合物(塗装前処理液)・ヒドラジン(塗料冷却装置)
- ・エチルベンゼン(ガソリン)・トルエン(ガソリン・シーラー・床用塗料)
- ・キシレン(ガソリン・灯油・ポージンコート)フタル酸-2-エチルヘキシン(シーラー)
- ・ピクリン酸(切断検査)

2007年度

(Kg) 主なPRTR法対象物質使用量

